

## 令和2年度事業報告

### 1 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う影響調査の実施

令和2年2月以降、秋田県（交通政策課）とともに、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う影響調査を実施し、各月毎の会員事業者における営業収入見込み値、要望等を集約のうえ、国、県、市町村の施策に反映させた。

### 2 秋田県バス事業利用促進緊急対策事業の事務執行

6月1日、秋田県（交通政策課）から、バス事業利用促進緊急対策事業の補助間接事業者として、バス事業維持対策交付金及び貸切バス利用促進事業費補助金の事務委託を受けた。

県内の中小バス事業者（会員24、非会員3）の車両所有継続に伴う経費負担の軽減を目的とするバス事業維持対策交付金では、つなぎ対策交付金49,980千円、維持継続対策交付金20,580千円の合計70,560千円の支出事務を執行した。

県民等の貸切バス利用促進を目的に、1台につき1日当たり75千円を上限として半額補助する貸切バス利用促進事業費補助金65,025千円では、54,581千円余りの支出事務を執行した。補助金の延べ利用件数は1,161件、執行率は83.9%であった。

### 3 秋田県観光地創生支援事業の事務執行

7月6日、観光エリアの魅力向上や観光関連事業者の雇用維持を図ることを目的とする秋田県（観光戦略課）の観光地創生支援事業に、「バスの日にアップ!!AKITAの魅力発信#ツアー」が採択され、9月3日、補助対象事業者として補助金15,000千円の概算払いを受けた。

会員全事業者がツアーバスを運行し、会員に支出した運賃等の総額14,500千円を含む実績額14,900千円の事務を執行した。

### 4 運転士体験会の開催

8月1日、秋田県警察運転免許センターにおいて、運転士の確保、バスの活性化を図ることを目的に、秋田中央交通㈱のバス2両を使用し、運転士体験会を開催した。

参加した10代から50代の男女7人、3報道機関の記者4人が運転を体験し、その様子が、報道機関3社のテレビ、新聞により報道された。

### 5 貸切バス安全安心対策実演会の開催

9月11日、秋田運輸支局構内駐車場において、貸切バスの安全安心を広く周知し、利用促進を図ることを目的に、会員9事業者の大型貸切バス10両を使用し、貸切バス安全安心対策実演会の開催した。

車内消毒、車内換気性能、日常点検の実演を、観光、旅行業等関係者24人が見学し、報道機関6社のテレビ、新聞により報道された。

## 6 第25回秋田バスまつりの開催延期

人、まち、環境に優しい公共交通機関としてのバスの社会的意義を啓発するとともに、バス利用者に感謝し、バスの利用促進を図ることなどを目的に、9月12日、アゴラ広場において開催予定であった第25回秋田バスまつりを、新型コロナウイルス感染症感染拡大を考慮し、延期した。

## 7 秋田県バス絵画コンクールの開催

第9回となる秋田県バス絵画コンクールには、小学生61点、未就学児童42点の計103点の応募が寄せられた。バスまつりの開催見送りに伴い、表彰状を送付により授与するとともに、入賞作品15点のみを、9月14日から4日間、にぎわい交流館AUに展示した。

## 8 秋田県教育委員会への「貸切バス新型コロナウイルス感染予防対策」の説明

10月28日、秋田県教育委員会教育長（義務教育課長）に対し、教育現場での貸切バスの感染予防対策に対する懸念を払拭し、安心して修学旅行等を実施できるよう、会員事業者の貸切バスの運行にあたっては、公益社団法人日本バス協会、一般社団法人日本旅行業協会及び一般社団法人全国旅行業協会が合同で公表し、最新の専門家の知見、利用者の要望等を踏まえて必要な見直しを行っている「貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」を遵守していることなどを説明した。

## 9 秋田県知事等への要望書の提出

12月21日、秋田県知事、同副知事に対し、路線バス等への補助制度の維持・観光路線への支援など制度の拡充、支援金の支給や補助要件の緩和、バスロケーションシステムなど新たなサービスの導入における事業者負担の軽減を骨子とする「地域公共交通を担うバス事業の維持・確保対策に係る要望書」を提出した。

## 10 貸切バス事業者安全性評価認定制度の申請

本年度、1事業者の新規申請、7事業者の更新申請を受け、訪問審査を実施した。1事業者が二ツ星から三ツ星に、3事業者が一ツ星から二ツ星に昇格するなど全事業者が認定された。

これにより、認定事業者は、三ツ星6事業者、二ツ星4事業者、一ツ星8事業者の計18事業者となり、会員に占める割合は72%となった。

## 【公益目的事業】

### 安全運行確保事業

#### (1) 緊急事態対応訓練

令和2年11月26日、秋田中央交通㈱の生活路線バスがバスジャックされたとの想定により、乗客等の安全確保と関係機関との連携を図ることなどを目的に、東北運輸局秋田運輸支局、秋田県、秋田県警察本部等との合同によるバスジャック対応訓練を実施した。

#### (2) バス車内事故防止キャンペーン

令和2年7月中、バス利用者が安全にバスを利用し、車内事故を防止するため、車内事故防止ポスターを作成してバスに貼付させるとともに、事業者は車内アナウンスにより乗客に車内事故防止を呼びかけた。また、交通安全啓発用のぼりを掲出し、事故防止に努めた。

### 輸送サービス改善事業

#### (3) バス乗務員研修会

令和3年2月5日、バスの運転者、バスガイド等60名を対象にバス乗務員研修会を開催し、「働き方改革、労働災害防止」、「職業倫理」、「交通安全」に関する研修を行い、プロ意識の向上等に努めた。

#### (4) 秋田駅東口バス案内所への案内人の配置

JR秋田駅東口のバスターミナルにバス案内所を設置して案内人1名を配置し、バス利用者等に対する案内、地理教示、ターミナルを使用するバスの指導・監視・案内、バスターミナルの清掃等に当たった。

#### (5) 路線バス活用化対策

令和2年11月、より利用者の利便の向上を図るため、県内全域を網羅した統一的なバス路線マップを作成し、バス営業所・JR駅・空港・観光案内所等に配付用として備え、バスの活性化に努めた。

### バス活性化対策事業

#### (6) 運転士体験会の開催

令和2年8月1日、秋田県警察運転免許センターにおいて、バスの活性化のための運転士確保を目的に、運転士体験会を開催した。

#### (7) バス活性化委員会における協議

令和3年2月16日、東北運輸局、同秋田運輸支局、乗合バス事業者等によるバス活性化委員会幹事会を開催し、県内地域におけるバス輸送に関する活性化施策について協議した。

#### (8) 貸切バス安全安心対策実演会の開催

令和2年9月11日、秋田運輸支局構内駐車場において、貸切バスの安全安心を広く周知し、利用促進を図ることを目的に、安全安心対策実演会を開催した。

#### (9) 第25回秋田バスまつりの開催延期等

令和2年9月12日に開催を予定していた、人、まち、環境にやさしい公共交通機関としてのバスの社会的意義や交通弱者の保護、交通事故の防止等を啓発するための「第25回秋田バスまつり」を、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、延期することとした。

「第9回秋田県バス絵画コンクール」は実施し、小学生以下の児童から103点の応募が寄せられ、15点に会長賞等を授与した。

### 環境対策事業

#### (10) 環境対策

国土交通省が主唱して行う年間を通じた「不正改造車を排除する運動」・「自動車点検整備推進運動」に取り組むとともに、令和2年6月の「不正改造車排除強化月間」と9月・10月2カ月間の「自動車点検整備推進運動強化月間」に取り組み、会員挙げて環境対策の啓発に努めた。

### バス事業者に対する助成事業

#### (11) バス事業者に対する助成

運輸事業振興助成交付金交付要綱第4条に定められている旅客の輸送の安全確保に関する事業、サービスの改善及び向上に関する事業として、路線バスの液晶運賃表示器整備・デジタル化更新事業、中古バス車両購入、ドラレコ購入、デジタコ購入、睡眠時無呼吸症候群検査・脳ドック、大型二種免許取得への助成を行った。

### バス輸送の秩序維持事業

#### (12) バス輸送の秩序維持

令和2年12月2日、自家用バスやレンタカーによる違法な貸切バス営業類似行為を排除し、バス輸送の秩序を維持するため、自家用バス使用実態調査を実施した。

## 【会員向け事業】

### 安全運行確保事業

#### (1) 運転者に対する適性診断

法令等により、事業者に求められている運転者に対する技能、知識の習得のため、独立行政法人自動車事故対策機構が実施している一般診断、初任診断、適齢診断に282名を受講させた。

#### (2) 運行管理者等に対する講習

新たに運行管理者になろうとする者や運行管理者試験の受験資格を得ようとする者に対する法令及び基礎知識を習得させるため、独立行政法人自動車事故対策機構が実施している基礎講習と一般講習に114名を受講させた。

### 輸送サービス改善事業

#### (3) 秋田駅西口バス案内所への案内人の配置

JR秋田駅西口のバスターミナルにバス案内所を設置して案内人1名を配置し、バス利用者等に対する案内、地理教示、ターミナルを使用するバスの指導・監視・案内、バスターミナルの清掃等に当たった。